

家庭学習の手引き

旭市立中和小学校

3・4年生の学習のポイント

学習時間のめやす

40分

●宿題、そして自主学習にすすんで、取り組みましょう

毎日 決めた時間に 自分から かならずやりましょう

- 学校の宿題と授業の振り返りをする
- 宿題以外の自主学習を少しずつする
- 明日のじゅんびをする



いろいろなことにちょうせんしよう

◆読んだり書いたりして

- ・いろいろな本を読もう（読書はすべての学習の基礎^{きそ}となります）
- ・日記や作文、手紙を書こう
- ・漢字、計算練習

◆「なぜ?」「どうして?」を大切に

- ・いろいろな方法で調べてみよう
- ・動物や植物を育てよう（観察）

◆とくいなことから

- ・運動をしよう
- ・絵をかこう
- ・楽器^{がっき}の練習をしよう

◆タブレットを活用して

- ・ジャストスマイルドリル
- ・タイピング練習
- ・調べ学習

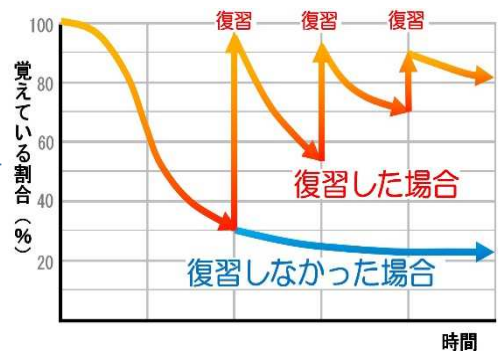


Q : ^{かてい}なぜ家庭学習が^{たいせつ}大切なのですか？

A ① : 「^{みづか}自ら^{まな}学ぶ^{ちから}力」が^{そだ}育つからです。

A ② : ^{かくじつ}学習内容が^み確実に^つ身に付くからです。

人は一度^と学習したことも、時間がたつと^{わす}どんどん忘れていきます。くり返し^{かえ}復習^{ふくしゅう}することで、学習内容^{かくじつ}が確実に身に付くからです。



エビングハウスの忘却曲線より

Q : 毎日^{つづ}、続けるために大切なことは何ですか？

A ① : ^き決まった時間に、決まった場所です。

A ② : 勉強^{かんきょう}に集中できる環境をつくる。

^{みじか}短い時間でも、毎日規則正しく^{きそく}続けることが大切です。

ゲームやテレビや動画などをやめて、しずかな場所で勉強することが大切です。テレビは消しましょう。勉強する場所には、ゲームを置きません。

学習習慣の基本は家庭から ～おうちの方へ～

子どもの学習能力は、年齢によっても個人によっても異なります。子どもの発達の段階に合わせて、子どもの「自ら学ぶ力」を育てましょう。

そのためには、家族の協力が大切です。

自分からすすんで 学習しましょう



この時期の子どもは…

- 行動範囲とともに興味の範囲も広がり、好きなことに熱中するようになります。
- 大人に頑張ったことを認め、励ましてほしいと思っています。
- 自分でできることが増えますが、まだ大人の手助けが必要です。
- 男女別に集団で行動するようになり、口答えも増えるようになります。

●「タブレットを活用する」～これからの教育に欠かせないアイテム～

中和小の中学年は、毎週木曜日にタブレットの持ち帰りをします。タイピングやジャストスマイルを中心に、タブレットを使った宿題も出していきます。早い時期からタブレットに慣れさせ、文房具の一つとなることを目指していきます。持ち帰ったときは、おうちの方のサポートをお願いします。

●「規則正しい生活をする」～学力は規則正しい生活から～

子どもが毎日家庭学習を続けるためには、何よりもまず家庭での生活リズムが整っていることが大切です。「早寝、早起き、朝ごはん」など規則正しい生活を心がけ、心身ともに元気に過ごせるようにしましょう。

●「家族のふれあいをもつ」～温かい家庭が育む学ぶ意欲～

「今日は何を習ったの？」と聞くことから、子どもの復習がはじまります。親が子どもの学びに関心をもつことで、自分のことを見てくれているという安心感を与え、学習への意欲が高まります。

●認め、励まし、やる気を伸ばしましょう ～自己肯定感を育てよう～

子どもは、自分が頑張ったことを認めてもらったり、ほめられたりすることで、自分のよさに気づき、自信をもちます。そのためにも、子どものいいところや子どもが何かをやりとげようと自分なりに頑張ったことを心から認め、ほめることが大切です。大人になり、様々な苦難にぶつかったとき、子どものときに認めほめられることで子どもの中に培われたものが、生涯にわたり心の支えになります。

「家庭教育は、全ての教育の出発点です」

家庭教育や就学前教育については、次の資料などを参考にしてください。

・家庭学習のすすめ

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2015/kateigakus-syougaku.html>

